

夢
を持ち
を育み
を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

臨時休業措置にあたって・・・

12日(日)の安心安全メールでの通知から、昨日もメールでの通知、添付文書等が複数回続き、ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。

情報を精査して、正確に発信するよう、再度確認してまいります。

今後も学校からの緊急の連絡等がある場合は、安心安全メールと学校HPにてお伝えしますので、ご注意ください。

なお、今回の臨時休業措置にあたって、ご心配なことやご不明な点等がありましたら、遠慮なさらずにご相談、ご連絡ください。5月7日(木)に学校を再開できて、元気な子供たちに会えるのを楽しみにしています。

運動会の期日について・・・

先だって、運動会の延期をお伝えしたところですが、その期日につきまして、9月の中旬から下旬、校区内の中学校や町立幼稚園等と重ならない日で計画したいと考えています。今週の会議で決定次第学校HPでお知らせします。



明日から臨時休校です

先週4月8日の始業式で、2～6年生を、翌9日の入学式で1年生を迎え、活気を取り戻した学校でしたが、この度の新型コロナウイルス感染症対策に伴う対応により、4月15日～5月6日までの約3週間、臨時休業期間となります。入学したての1年生も少しずつ学校生活になじめるかな・・・と楽しみにしていましたし、何といても主役の子供たちがいない学校は寂しいものです。(写真は1年生 しっかり前を向いています)



が、社会全体が元気に正常化するよう、この時期だからこそ学校でできること、すべきことに取り組んでまいります。

あたりまえの日常が見えない「今」をどう過ごすか

ある保護者の方と話をしていたとき、「コロナにつきあう」という言葉を使われました。確かに新型コロナウイルス感染症は、生命、そして世の中全体への脅威ですが、なかなか収束に向かわないこの状況を悲観せずに正面から受け容れながら、じゃあどうするかと考えて行動する視点に改めて気付かされた気がしました。

振り返れば、平成28年熊本地震の際も、「未曾有」という語が登場し、被災地では、学校が再開できないどころか衣食住の安定した保障もない日々が続き、あたりまえでない日常を余儀なくされました。折しもその震災から今日で4年。創造的復興の歩みを振り返りながら、今できることを考えています。

「ハチドリの一とすずく」をご存じでしょうか。一部ご紹介します。(辻信一 訳)

森が燃えていました。森の生きものたちは われ先にと 逃げていきました
でもクリキンディという名の ハチドリだけは いったりきたり 口ばしで
水の しずくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます
動物たちがそれを見て 「そんなことして いったい何になるんだ」
とって笑います



クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

学校として、今できることは、臨時休業期間ではありますが、子供たちへの教育を何らかの形で保障すること。今日、子供たちは家庭学習の課題を持ち帰っています。年度当初で、新学年の学習が進んでいませんので旧学年の内容中心のプリントです(詳細は学習課題一覧)。昨日、本校職員が印刷機をフル稼働させ、準備しました。子供たちにとっては自らを律して学習に向かう力を培うチャンス。この機に、子供たち自身にも、元気な社会を回復する担い手の一員としての自覚が育ってくれることを、強く願っています。

